

④ 有限会社丸浅苑

しいたけ、燃料、さらに新発想の加工品で 完全循環型生産システムをめざして

しいたけには徳島県の「とくしま安農産物認証」

木質バイオマス燃料にはFIT認証（合法性・持続可能性の証明）

安心安全の上に、持続可能な循環型生産システムを構築。

時代にふさわしいブランドイメージで競争力を強化し、

海外展開も視野に、企画にも販路にも新しい発想で挑む。



菌床椎茸の廃菌床を活用した木質系バイオマス燃料の開発

1. 取り組みの経緯

しいたけ発生後の廃菌床は堆肥として活用してきたが、農家の高齢化などにより需要が減少し一般廃棄物としての処理が増えていた。しかし、オガクズや米ヌカなどから作られる菌床はりっぱな資源であり、環境負荷を考えると、廃棄物として処分するのは忍びない。処理費用の増加も経営の圧迫につながっており、なんとか廃菌床を有効活用したいと考え、木質バイオマス燃料開発に着手した。

2. 実施内容

菌床は原料そのものがチップ化された「木質系天然素材」であることから、木質バイオマス燃料としての再利用をめざし、粉碎乾燥機と木質ペレットバーナー、ペレット造粒システムを導入。ブロック状の廃菌床を破碎混合したうえで乾燥させ、ペレット状に成形し、燃料として製品化した。水分含有量を10%程度まで乾燥させることで、成形のしやすさと燃料としての燃焼効率を高めた。

3. 取り組みの成果

廃棄物処理費の削減と、乾燥用バーナーの燃料として自家消費することで石油燃料費の削減も実現。木質バイオマス燃料を供給するFITの事業者認定を受けて販路を開拓し、施設園芸暖房燃料、家庭用暖房燃料として販売するほか、県外の温泉施設へボイラー燃料として供給を開始した。バイオマス発電所などの大量需要に対応するために、乾燥機のキャパシティアップが今後の課題である。

事業者から一言 ししいたけハンバーグ「モンミート」誕生！

地球をあげてSDGsへの取り組みが広がる中、この事業をさらに発展させ、いずれは自家発電による完全循環型生産システムを構築して、企業イメージと競争力アップにつなげたいです。循環サイクルの中から新商品しいたけハンバーグ「モンミート」が誕生。美味しい健康食としてデビューしました。



代表取締役
湯浅 明男氏



▲ペレット状に成型するペレット造粒システム



▲粉碎乾燥機



▲木質ペレットバーナー

有限会社丸浅苑

〒779-3118
徳島県徳島市国府町井戸字八斗地56番地
Tel.088-642-6878 Fax.088-642-1919
●代表取締役 湯浅 明男
●設立年月日 平成9年7月1日
●資本金 1,000万円
●業種 食料品製造業
●従業員数 45名
●ホームページ <https://www.marusaen.com/>